

生徒も教員も笑顔あふれる学校

「カエル会議」で働き方改革！

ふじみ野市立大井中学校 校長 えのもと かずお 榎本 一夫



1 はじめに

大井中学校は、開校75年目のふじみ野市内6中学校の中で最も伝統ある中学校で、生徒数586名、教職員数56名（市費職員含む）の大規模校である。

本校で働き方改革に本格的に取り組み始めたのは昨年度からである。コロナ禍での臨時休業や分散登校、感染防止への対応等、誰も経験したことのない業務や、オンライン授業をはじめとするICTによる学習保障など教員のやるべきことが増える中、働き方そのものを変えないと教職員のストレスや負担感も増えてしまうと考えたからである。

そこで、働き方改革の目的を次の3点とし全教職員で取り組んできた。

- ◎教職員の心身の健康を守る。
- ◎授業準備の時間を確保し、授業の質を高める。
- ◎生徒と向き合う時間を確保する。

2 働き方改革の実践

(1) 働き方改革の進め方を確認

- ステップ1：学校の働き方改革のゴールを決定
- ステップ2：現在の働き方を確認
- ステップ3：業務の問題点を抽出
- ステップ4：問題点の解決策を議論
- ステップ5：解決策の実施

※「カエル会議」でステップ1～5を繰り返す。

(2) カエル会議の実施

- ア カエル会議のメンバー（8名）
事務主査（リーダー）、教頭、各学年職員2名ずつ

カエル会議の「カエル」とは

- ◎早く帰る（カエル）
- ◎仕事のやり方を変える（カエル）
- ◎人生を変える（カエル）

- イ カエル会議でワークを抽出
 - ワーク1：目指すところ（ゴール）を達成するために障壁になっている事・物は何か？
 - ワーク2：障壁になっている事・物の原因は何か？
 - ワーク3：どのようにすれば原因を解消し障壁を取り除けるか？
 - ワーク4：どのように実行するか（いつまでに・誰が・何を・どうやって）

ウ アクションシートの作成

ゴールを次の3つに定める。

- ①教職員の健康を守る
- ②時間確保で授業の質を高める
- ③生徒と向き合う時間の確保



アクションシート

課題・アクション・施策責任者・実行者・期日・成果計測のための指標を設定し、実行計画を決める。計12の課題が挙がり解決策を議論した。

(3) 課題解決のための実践例

- ア 課題①：校務分掌に偏りがある。
解決策：校務の精選とポイント化

例 1, 2年担任2P、3年担任3P
生徒指導主任・担当3P
教育相談主任3P、担当2P
情報教育主任3P、担当1P など

実践：見える化→職員間の校務の偏りを解消

- イ 課題②：職員が不足している。
解決策：業務アシスタントの配置を要請
実践：障害者会計年度職員（2名）の配置が実現
- ウ 課題③：行事が途切れず負担が大きい。
解決策：行事の精選と運営方法の見直し
実践：体育祭の内容縮小、市内音楽会の廃止検討
- エ 課題④：教材研究の効率化
解決策：授業アイデア・教材の共有
実践：サーバーの共有ホルダー作成
- オ 課題⑤：集中して仕事ができない環境である。
解決策：仕事に集中する時間（もくもくタイム）を設定する。

実践：生徒下校後30分間のもくもくタイム実施

3 おわりに

「カエル会議」の実践を中心に紹介した。

教職員は、新型コロナウイルス感染防止への対応に苦慮しながら、子供たちのために努力を惜しまない。是非とも健康に留意しながら生き生きと働いてもらいたいものである。

教育が人づくり、国づくりであるならば、頑張る教職員が頑張れる職場が必要不可欠である。社会全体で教員の働き方改革を応援してもらえると幸いである。

出典：株式会社ワーク・ライフバランス